

基本方針 1 市町村とともに小・中学校の教育力を充実します

【基本的方向】

- ① 市町村の主体的な取組みを支援するとともに、課題のある学校への重点的な支援を行い、子どもの力をしっかり伸ばす学校力の向上を図ります。
- ② 教育内容の充実や授業改善などへの支援をすすめ、「基礎・基本」の確実な定着と「活用する力」の向上を図り、すべての子どもにこれからの社会で求められる確かな学力をはぐくみます。
- ③ 学校教育全体を通して、互いに高めあう人間関係づくりをすすめます。

【主な取組み】

基本的方向	具体的取組名（事業名）	実施内容
①	中学校の学校力向上へ向けた重点支援 （スクール・エンパワーメント推進事業 <参考資料 P137>） （中学生学びチャレンジ事業 <参考資料 P138>）	学力向上に積極的に取り組む府内 84 中学校に学力向上担当教員を配置するとともに、府教育委員会に設置した「支援チーム」が学校の取組みを検証し、市町村教育委員会とともに指導・助言を行った。 また、学力向上の対策を重点的に推進する市町村に対し、学力向上計画の実行にかかる経費の2分の1を補助するとともに、対象市町村の計画の進捗状況について点検し、指導・助言を行った。 中学生の学力向上を目的として、府内の市町村立中学校及び支援学校1、2年生を対象に、学力調査を実施した。さらに、平成28年度より、3年生対象の学力調査も実施することとした。
	少人数学級編製の推進 （35人を基準とした少人数学級編制 <参考資料 P138>）	学校生活の基礎を築くためには、きめ細かな少人数での指導が重要であると考え、小学校1年生は標準法による基礎定数、小学校2年生は国加配定数を活用し、35人を基準とした少人数学級編制を実施した。
	少人数・習熟度別指導の推進 （習熟度別指導推進事業 <参考資料 P138>）	児童・生徒の学習理解を促進するため、中学校、小学校3年生以上において、少人数・習熟度別指導を実施した。

基本的方向	具体的取組名（事業名）	実施内容
②	授業改善への支援 （市町村研修支援プロジェクト・校内研究支援プロジェクト ＜参考資料 P138＞）	市町村教育委員会の体系的な研修の実施を支援するため、授業づくりセミナー及び ICT 活用研修に府教育センターの指導主事を研修講師として派遣した。 また、府教育センター及び市町村教育委員会の指導主事並びに授業改善等の校内研究に取り組む学校の教員で構成するワーキングを設置し、授業研究や校内研究の推進に取り組んだ。
	英語教育の充実 （英語教育推進事業 ＜参考資料 P140＞）	小学校初期段階から中学校にかけて英語教育の充実を図るため、小学校では1年生から全学年で活用できる教材「大阪府公立小学校英語学習6カ年プログラム（DREAM）」を民間業者と共同で開発・完成した。 また、中学校では、府内7中学校を研究協力校に指定し、洋書を活用した指導方法についての実践研究を行った。
③ 【基本方針4 基本的方向④の 再掲】	道徳教育の推進（＜参考資料 P142～P143＞）	小・中学校については、道徳の時間の積極的な地域等への公開や道徳教育公開講座を通じた家庭・地域との連携の推進について市町村教育委員会に指導・助言した。また、28市町106中学校区を推薦指定校区に指定し、道徳教育公開講座や道徳の授業づくり研修会の開催を推進した。 府立高校については、各校が作成する道徳教育の全体計画に基づき、学校の教育活動全体を通じて道徳教育を推進することを周知した。
	人権教育の推進（＜参考資料 P144＞）	小・中学校については、市町村教育委員会と連携し、人権教育教材集・資料を活用した研修を実施するとともに、人権教育フォーラムを実施した。 府立高校については、共同研究校26校、共同研究員・研究協力員184人の体制により、研究交流会議やテーマ別研修会等を開催した。

【指標の点検結果】 ※全国学力・学習状況調査に係る指標については、当該年度の状況が次年度の結果に反映されるため、「計画策定時の現状値」及び「実績値」には次年度の結果を記載

指標	目標値 (H29 年度)	H24 年度実績値 (計画策定時)	H27 年度実績値	点検結果																																																																					
<p>○指標1 「全国学力・学習状況調査」における平均正答率</p>	<p>小6 全国水準を上回る</p>	<p>小6 (H25.4 実施)</p> <table border="1" data-bbox="654 306 1151 560"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">平均正答率 (%)</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>府</th> <th>対全国比 (注)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語A</td> <td>62.7</td> <td>61.2</td> <td>0.976</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>49.4</td> <td>47.9</td> <td>0.970</td> </tr> <tr> <td>算数A</td> <td>77.2</td> <td>77.1</td> <td>0.999</td> </tr> <tr> <td>算数B</td> <td>58.4</td> <td>57.3</td> <td>0.981</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 全国平均正答率を1とした場合の府平均正答率の割合</p>		平均正答率 (%)			国	府	対全国比 (注)	国語A	62.7	61.2	0.976	国語B	49.4	47.9	0.970	算数A	77.2	77.1	0.999	算数B	58.4	57.3	0.981	<p>小6 (H28.4 実施)</p> <table border="1" data-bbox="1200 306 1697 560"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">平均正答率 (%)</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>府</th> <th>対全国比 (注)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語A</td> <td>72.9</td> <td>71.3</td> <td>0.978</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>57.8</td> <td>55.4</td> <td>0.958</td> </tr> <tr> <td>算数A</td> <td>77.6</td> <td>76.9</td> <td>0.991</td> </tr> <tr> <td>算数B</td> <td>47.2</td> <td>45.8</td> <td>0.970</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 全国平均正答率を1とした場合の府平均正答率の割合</p> <p>(H26 年度実績値 (H27.4 実施))</p> <table border="1" data-bbox="1200 683 1697 936"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">平均正答率 (%)</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>府</th> <th>対全国比 (注)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語A</td> <td>70.0</td> <td>67.6</td> <td>0.966</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>65.4</td> <td>62.7</td> <td>0.959</td> </tr> <tr> <td>算数A</td> <td>75.2</td> <td>74.8</td> <td>0.995</td> </tr> <tr> <td>算数B</td> <td>45.0</td> <td>44.1</td> <td>0.980</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 全国平均正答率を1とした場合の府平均正答率の割合</p>		平均正答率 (%)			国	府	対全国比 (注)	国語A	72.9	71.3	0.978	国語B	57.8	55.4	0.958	算数A	77.6	76.9	0.991	算数B	47.2	45.8	0.970		平均正答率 (%)			国	府	対全国比 (注)	国語A	70.0	67.6	0.966	国語B	65.4	62.7	0.959	算数A	75.2	74.8	0.995	算数B	45.0	44.1	0.980	<p>小6 計画策定時の実績と比較すると、国語Aについては改善したが、その他の教科・区分については改善が見られなかった。</p> <p style="text-align: center;">△</p>
				平均正答率 (%)																																																																					
国	府		対全国比 (注)																																																																						
国語A	62.7	61.2	0.976																																																																						
国語B	49.4	47.9	0.970																																																																						
算数A	77.2	77.1	0.999																																																																						
算数B	58.4	57.3	0.981																																																																						
	平均正答率 (%)																																																																								
	国	府	対全国比 (注)																																																																						
国語A	72.9	71.3	0.978																																																																						
国語B	57.8	55.4	0.958																																																																						
算数A	77.6	76.9	0.991																																																																						
算数B	47.2	45.8	0.970																																																																						
	平均正答率 (%)																																																																								
	国	府	対全国比 (注)																																																																						
国語A	70.0	67.6	0.966																																																																						
国語B	65.4	62.7	0.959																																																																						
算数A	75.2	74.8	0.995																																																																						
算数B	45.0	44.1	0.980																																																																						

指標	目標値 (H29年度)	H24年度実績値 (計画策定時)	H27年度実績値	点検結果																																																																					
<p>○指標1 「全国学力・学習状況調査」における平均正答率</p>	<p>中3 全国水準をめざす</p>	<p>中3 (H25.4実施)</p> <table border="1" data-bbox="654 256 1151 512"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">平均正答率 (%)</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>府</th> <th>対全国比 (注)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語A</td> <td>76.4</td> <td>73.3</td> <td>0.959</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>67.4</td> <td>63.0</td> <td>0.935</td> </tr> <tr> <td>数学A</td> <td>63.7</td> <td>61.7</td> <td>0.969</td> </tr> <tr> <td>数学B</td> <td>41.5</td> <td>38.8</td> <td>0.935</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 全国平均正答率を1とした場合の府平均正答率の割合</p>		平均正答率 (%)			国	府	対全国比 (注)	国語A	76.4	73.3	0.959	国語B	67.4	63.0	0.935	数学A	63.7	61.7	0.969	数学B	41.5	38.8	0.935	<p>中3 (H28.4実施)</p> <table border="1" data-bbox="1198 256 1695 512"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">平均正答率 (%)</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>府</th> <th>対全国比 (注)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語A</td> <td>75.6</td> <td>73.5</td> <td>0.972</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>66.5</td> <td>63.3</td> <td>0.952</td> </tr> <tr> <td>数学A</td> <td>62.2</td> <td>61.7</td> <td>0.992</td> </tr> <tr> <td>数学B</td> <td>44.1</td> <td>43.1</td> <td>0.977</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 全国平均正答率を1とした場合の府平均正答率の割合</p> <p>(H26年度実績値 (H27.4実施))</p> <table border="1" data-bbox="1198 635 1695 890"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">平均正答率 (%)</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>府</th> <th>対全国比 (注)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語A</td> <td>75.8</td> <td>74.4</td> <td>0.982</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>65.8</td> <td>64.8</td> <td>0.985</td> </tr> <tr> <td>数学A</td> <td>64.4</td> <td>64.3</td> <td>0.998</td> </tr> <tr> <td>数学B</td> <td>41.6</td> <td>41.4</td> <td>0.995</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 全国平均正答率を1とした場合の府平均正答率の割合</p>		平均正答率 (%)			国	府	対全国比 (注)	国語A	75.6	73.5	0.972	国語B	66.5	63.3	0.952	数学A	62.2	61.7	0.992	数学B	44.1	43.1	0.977		平均正答率 (%)			国	府	対全国比 (注)	国語A	75.8	74.4	0.982	国語B	65.8	64.8	0.985	数学A	64.4	64.3	0.998	数学B	41.6	41.4	0.995	<p>中3 計画策定時の実績と比較すると改善した。</p> <p>○</p>
	平均正答率 (%)																																																																								
	国	府	対全国比 (注)																																																																						
国語A	76.4	73.3	0.959																																																																						
国語B	67.4	63.0	0.935																																																																						
数学A	63.7	61.7	0.969																																																																						
数学B	41.5	38.8	0.935																																																																						
	平均正答率 (%)																																																																								
	国	府	対全国比 (注)																																																																						
国語A	75.6	73.5	0.972																																																																						
国語B	66.5	63.3	0.952																																																																						
数学A	62.2	61.7	0.992																																																																						
数学B	44.1	43.1	0.977																																																																						
	平均正答率 (%)																																																																								
	国	府	対全国比 (注)																																																																						
国語A	75.8	74.4	0.982																																																																						
国語B	65.8	64.8	0.985																																																																						
数学A	64.4	64.3	0.998																																																																						
数学B	41.6	41.4	0.995																																																																						
<p>○指標2 「全国学力・学習状況調査」における無解答率</p>	<p>小6：全国水準を下回る 中3：全国水準をめざす</p>	<p>小6：8.4% (全国：8.1%) 中3：8.6% (全国：6.8%)</p>	<p>小6：5.2% (全国：4.8%) 中3：7.7% (全国：6.9%)</p> <p>(H26年度実績)</p> <p>小6：5.5% (全国：5.2%) 中3：6.1% (全国：6.0%)</p>	<p>○</p> <p>計画策定時の実績と比較すると、小6、中3とも、全国水準に近い状態が続いている。</p>																																																																					

指標	目標値 (H29年度)	H24年度実績値 (計画策定時)	H27年度実績値	点検結果	
○指標3 「家で計画的に 学習する」と回 答した児童・生 徒の割合	向上させる	小6 : 49.7% (全国 : 58.9%) 中3 : 42.3% (全国 : 44.5%)	小6 : 52.6% (全国 : 62.2%) 中3 : 46.8% (全国 : 48.4%) 〔 H26年度実績 小6 : 52.9% (全国 : 62.8%) 中3 : 48.1% (全国 : 48.8%) 〕	○	いずれも計画策定時 の実績を上回った。
○指標4 「児童・生徒は 熱意を持って勉 強している」と 回答した学校の 割合	向上させる	小6 : 20.9% (全国 : 22.6%) 中3 : 13.6% (全国 : 19.7%)	小6 : 28.9% (全国 : 26.3%) 中3 : 26.2% (全国 : 23.6%) 〔 H26年度実績 小6 : 26.2% (全国 : 24.7%) 中3 : 22.3% (全国 : 21.7%) 〕	○	いずれも計画策定時 の実績を上回った。
○指標5 「自分には良い ところがある」 と回答した 児童・生徒の 割合 【基本方針4 指標27の再掲】	向上させる (全国水準をめざ す)	小6 : 73.0% (全国 : 75.7%) 中3 : 60.2% (全国 : 66.4%)	小6 : 72.9% (全国 : 76.3%) 中3 : 64.9% (全国 : 69.3%) 〔 H26年度実績 小6 : 73.3% (全国 : 76.4%) 中3 : 63.5% (全国 : 68.1%) 〕	△	小6については、全国 平均との差は拡大し た。 中3については、計画 策定時の実績を上回 り、全国平均との差も 縮小した。
○指標6 「人の気持ちが わかる人間にな りたい」と回答 した児童・生徒 の割合 【基本方針4 指標28の再掲】	向上させる	小6 : 91.7% (全国 : 93.0%) 中3 : 92.5% (全国 : 94.2%)	— ※平成28年度全国学力・学習状況調査児童生徒 質問紙から当該質問事項が削除	—	—

【自己評価】

- ① 市町村の主体的な取組みを支援するとともに、課題のある学校への重点的な支援を行い、子どもの力をしっかり伸ばす学校力の向上を図ります。
- ② 教育内容の充実や授業改善などへの支援をすすめ、「基礎・基本」の確実な定着と「活用する力」の向上を図り、すべての子どもにこれからの社会で求められる確かな学力をはぐくみます。
 - ・「全国学力・学習状況調査」における平均正答率については、小学校では、策定時の実績と比較すると、国語 A 区分で改善が見られたものの、他の教科・区分では改善が見られなかった。中学校では、昨年度との比較では全国との差は拡大したものの、計画策定時の実績との比較では、すべての教科・区分で改善が見られた。
 - 無解答率については、計画策定時に比べ、小学校、中学校とも、全国水準に近い状態が続いている。
 - 今後、各市町村の状況も含め、調査結果の分析を進め、成果のあった取組みの更なる普及とともに、明らかになった課題の改善に向けた取組みを一層進めていく。
 - ・学習状況調査結果からは、「児童・生徒は、熱意をもって勉強している」と回答した学校の割合が、小・中学校とも計画策定時から向上を続けており全国平均を上回っている。一方、「家で計画的に学習する」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校とも計画策定時を上回っているものの、昨年度よりはやや低下しており、授業以外での学習の充実に向け、更なる取組みが必要である。
 - ・小学校初期段階から中学校にかけて英語教育の充実を図るため、小学校では府内 16 小学校を研究指定校に指定し、英語の「文字」と「発音」との関係性を重視した、いわゆるフォニックスを活用した指導についての実践研究を実施するとともに、その成果や課題を活かして、民間事業者と共同で「大阪府公立小学校英語学習6カ年プログラム（DREAM）」を開発・完成した。
 - また、中学校では府内7中学校を研究協力校に指定し、洋書を活用した指導方法についての実践研究を行った。
- ③ 学校教育全体を通して、互いに高めあう人間関係づくりをすすめます。（基本方針4 基本的方向④の一部再掲）
 - ・小・中学校については、市町村教育委員会と連携した人権教育研修を実施するとともに、家庭・地域と連携した道徳教育をより一層推進してきた。これらの成果として、「自分には良いところがある」と回答した小学校6年生の割合については全国平均との差が拡大したものの、中学校3年生では縮小した。

【評価審議会における審議結果】

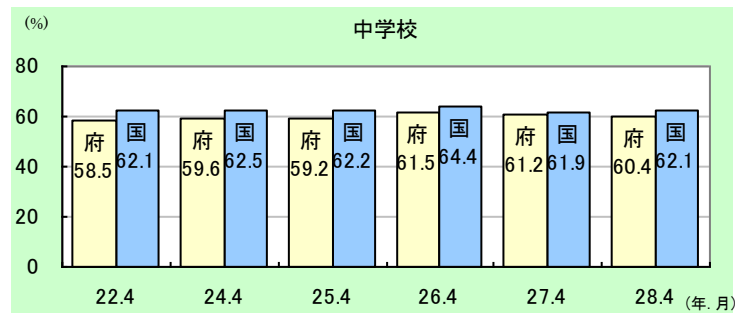
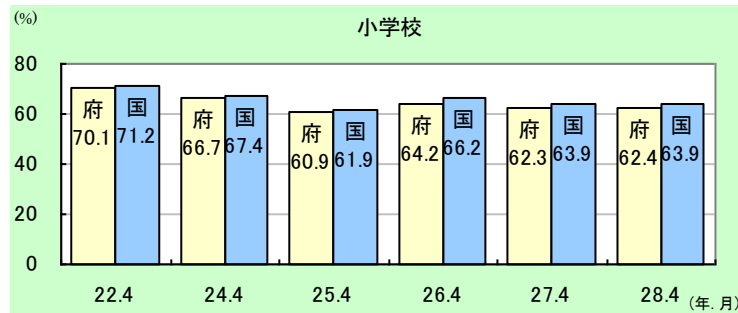
○府の点検及び評価結果は、概ね妥当である。

【基本的方向①及び②について】

- 全国学力・学習状況調査の結果については、昨年度に続き安定した内容となっている。しかし、無解答率の上昇とともに正答率が下がっている。無解答率が上昇した要因は、問題の解答が本当に分からないのか、子どものやる気を引き出す教員・保護者の問題なのか、分析が必要であり、その結果を踏まえた取組みが必要である。
- スクール・エンパワーメント推進事業については、学校現場に大変評価されている。学力向上をめざして管理職がリーダーシップをとることに加え、学力向上担当教員が中心となって進めることは、学校現場にとって効果があると考えられる。引き続き、本事業を継続するとともに、課題に応じて支援する教員を増員することも検討してほしい。
- 小学校英語教材「DREAM」は、全国の実践や学習指導要領改訂に先駆けて、大阪府内の子どもたちの英語力を効果的にアップしようとする取組みであり、評価できる。今後、小学校で英語を学んだ子どもたちが高校に進学したときに成果がでることに期待する。また、活用事例の情報交換を行いながら、より効果的な活用方法を探っていく必要がある。一方で、小学校の早い段階で英語嫌いになる子どもが出てくる可能性もある。本教材は、子どもたちに興味関心を持たせる内容になっているとのことだが、今後、導入した学校の情報を得ながら、さらによりよい教材としてほしい。
- 学力について、評価というのは、本来PDCAサイクル（計画を立てて実行し評価して改善する）というものである。子どもたちの成績結果だけが議論になりやすいが、結果を踏まえて、教員の授業改善方法についての取組みをさらにすすめる必要がある。

(参考)

◆指標1「全国学力・学習状況調査」における平均正答率

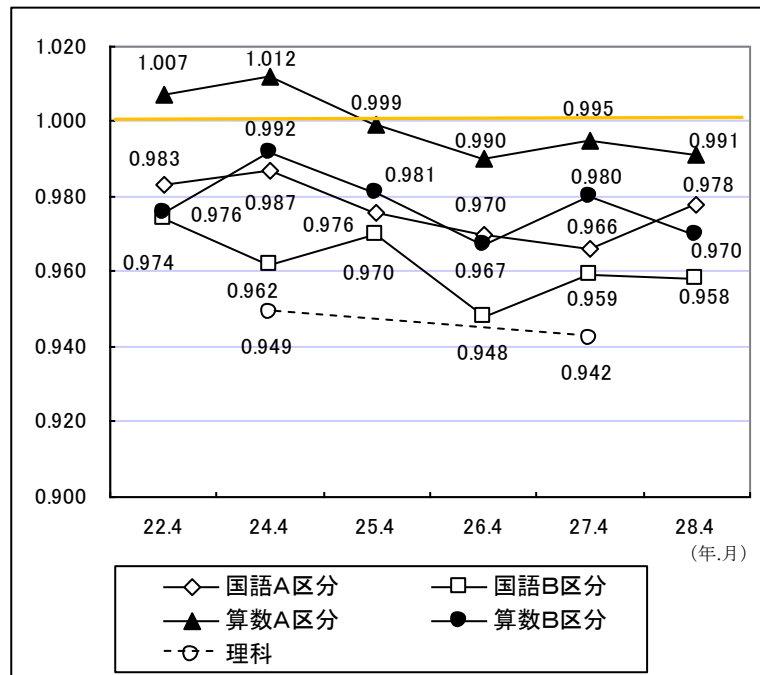


H22、24年 文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(政令市を含む抽出調査)
H25～28年 文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(政令市を含む悉皆調査)

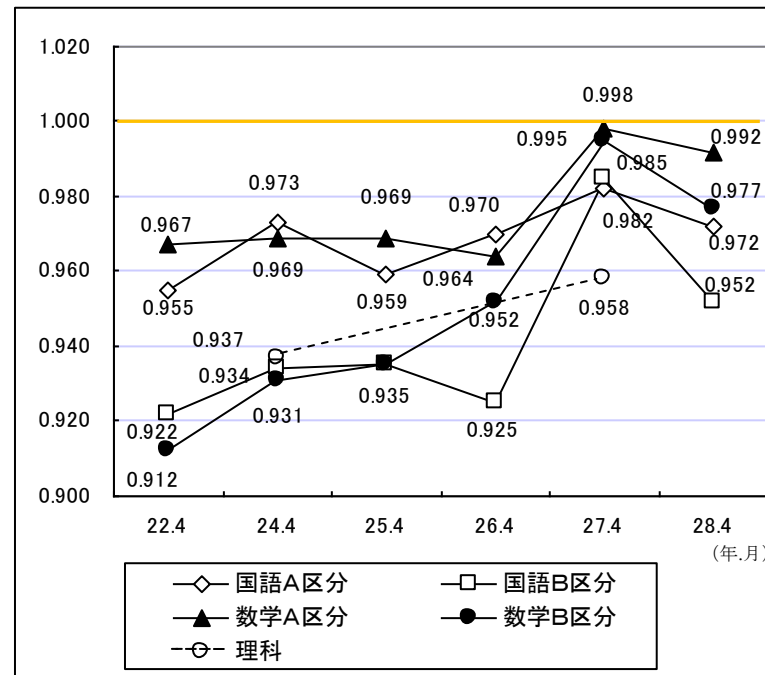
※国語、算数(数学)の各区分の平均正答率の平均

【校種・教科・区分別 正答率/対全国比経年比較】

小学校



中学校



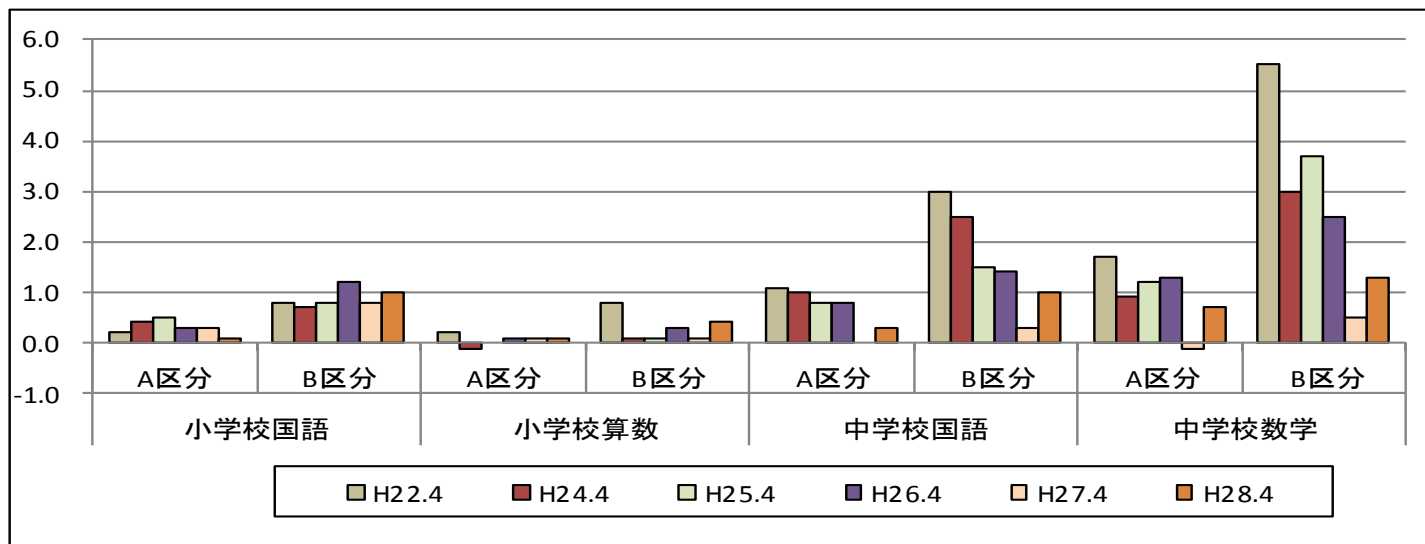
※全国平均正答率を1とした場合の府平均正答率の割合

◆指標2 「全国学力・学習状況調査」における無解答率

(%)

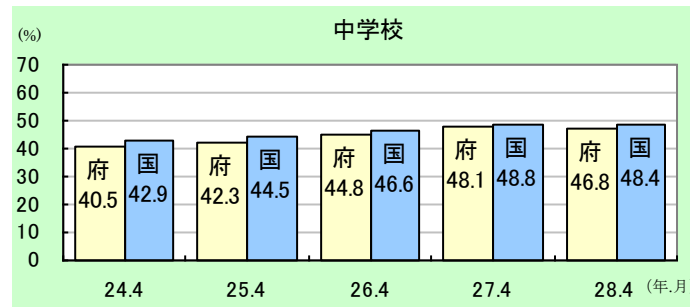
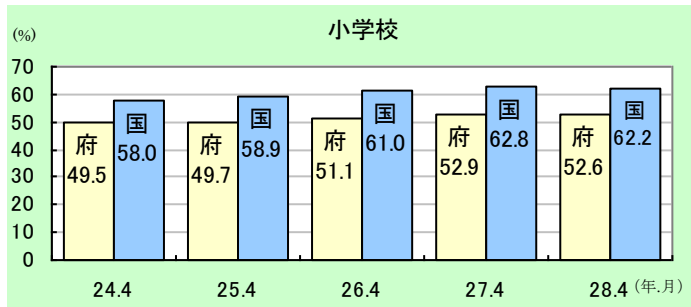
		H22			H24			H25			H26			H27			H28		
		大阪	全国	差	大阪	全国	差	大阪	全国	差	大阪	全国	差	大阪	全国	差	大阪	全国	差
小学校国語	A区分	2.8	2.6	0.2	3.4	3.0	0.4	11.2	10.7	0.5	2.6	2.3	0.3	3.9	3.6	0.3	5.4	5.3	0.1
	B区分	5.0	4.2	0.8	7.3	6.6	0.7	14.4	13.6	0.8	10.4	9.2	1.2	6.9	6.1	0.8	5.6	4.6	1.0
小学校算数	A区分	2.6	2.4	0.2	2.2	2.3	-0.1	1.7	1.7	0.0	1.0	0.9	0.1	1.9	1.8	0.1	1.9	1.8	0.1
	B区分	7.0	6.2	0.8	4.7	4.6	0.1	6.4	6.3	0.1	4.6	4.3	0.3	9.2	9.1	0.1	7.8	7.4	0.4
中学校国語	A区分	3.8	2.7	1.1	4.5	3.5	1.0	3.2	2.4	0.8	3.9	3.1	0.8	2.6	2.6	0.0	2.3	2.0	0.3
	B区分	9.8	6.8	3.0	7.3	4.8	2.5	4.3	2.8	1.5	4.9	3.5	1.4	2.5	2.2	0.3	5.4	4.4	1.0
中学校数学	A区分	8.0	6.3	1.7	3.6	2.7	0.9	6.5	5.3	1.2	5.6	4.3	1.3	3.6	3.7	-0.1	7.0	6.3	0.7
	B区分	24.8	19.3	5.5	16.1	13.1	3.0	20.4	16.7	3.7	13.4	10.9	2.5	15.8	15.3	0.5	16.0	14.7	1.3

校種・教科・区分別 無解答率 対全国差経年比較



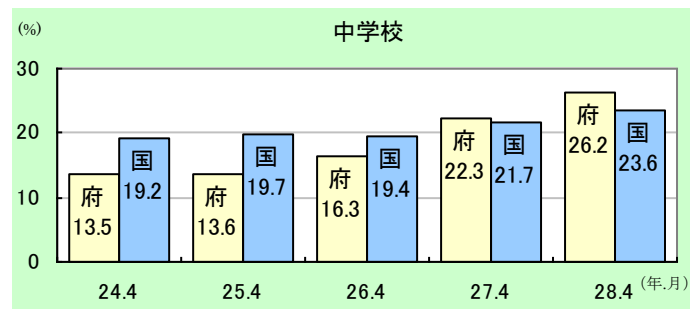
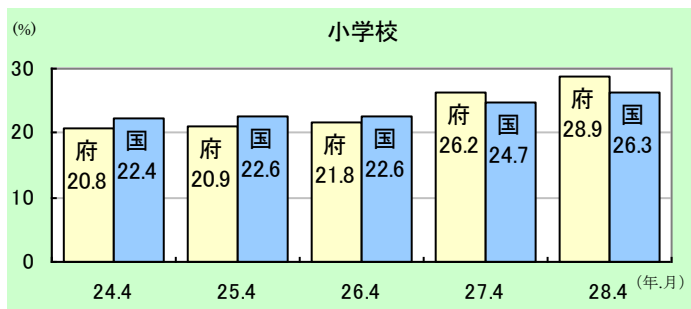
H22、24年 文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(政令市を含む抽出調査)
H25～28年 文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(政令市を含む悉皆調査)

◆指標3 「家で計画的に学習する」と回答した児童・生徒の割合



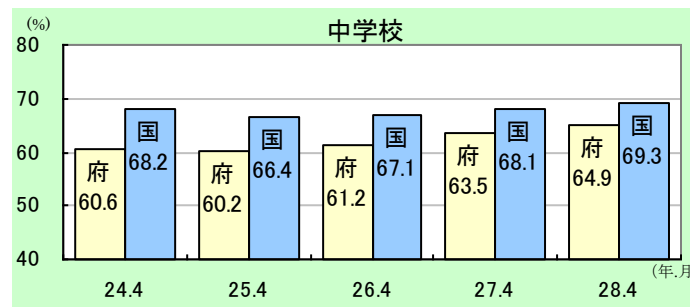
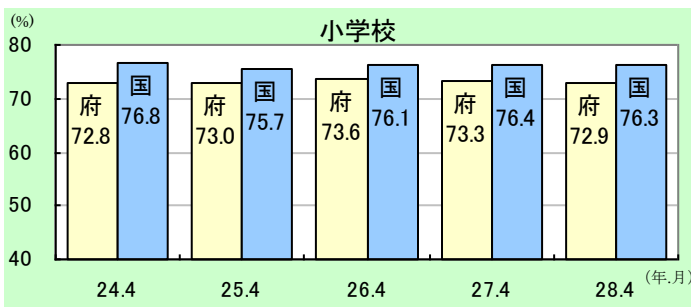
H24年 文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(政令市を含む抽出調査)
H25～28年 文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(政令市を含む悉皆調査)

◆指標4 「児童・生徒は熱意を持って勉強している」と回答した学校の割合



H24年 文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(政令市を含む抽出調査)
H25～28年 文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(政令市を含む悉皆調査)

◆指標5 「自分には良いところがある」と回答した児童・生徒の割合 (基本方針4 指標27の再掲)



H24年 文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(政令市を含む抽出調査)
H25～28年 文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(政令市を含む悉皆調査)